

# YELL

メール  
第16号

那須教育事務所ふれあい学習課  
〒321-0056 栃木県大田原市中央 1-9-9  
Tel:0287(23)2177 FAX:0287(23)2193  
Mail:nasu-kyouiku@pref.tochigi.lg.jp

Vol. 16 平成24年2月

## ステップアップ研修のまとめ ②

例年になく寒い日が続いていますが、体調はいかがでしょう。梅の便りも届きはじめ、暖かい季節がやってくるのは楽しみです。花粉が飛んでくるのかと思うと、ちょっと憂うつな方もいらっしゃると思います。

さて、今号も前号に続いて11月に行われた那須地区社会教育主事有資格者ステップアップ研修兼地域教育コーディネーター養成研修について御報告します。前号では主にグループ演習で出された授業に関する内容を掲載しましたが、今回は学校行事等で学校支援ボランティアに支援して欲しい内容を取り上げました。

具体的には「文化祭のときに、太鼓などの地域芸能を見せてほしい。」「スキー教室の指導をしてほしい。」「学習発表会で行う歴史劇の衣装を、子どもたちに作らせたいため、ミシンの指導をしてほしい。」「学校周辺の美化活動の際、子どもたちが理解してから活動させたいので、環境に関する話をしてほしい。」などの意見が出ました。出された意見を分析すると、小学校では、直接子どもたちを指導する技術を有するボランティアの支援を、中学校は立志式等の行事がある関係で、生徒に生き方や考え方を示してくれるボランティアの支援を求めている傾向が見られました。

今回出された意見を基に、小中学校で学校支援ボランティアが活躍できる場面をまとめたものが、別添資料「小中学校で学校支援ボランティアが活躍可能な場面事例集」にな

ります。この資料を御覧いただければ、実に多くの場面で学校支援ボランティアの導入が可能なのがわかります。ぜひ、今後とも各校で工夫をしながら、生涯学習係と有資格者の先生方が導入を推進してほしいと思います。

最後に、今回は地域教育コーディネーター養成研修も兼ねていた関係で、公民館職員等の方々も参加していました。実施後のアンケートでは「学校と地域の連携の必要性・重要性を感じた。」「学校が必要としていることを聞き、お互いの連携が深まるように努力したいと思った。」などの感想が寄せられました。公民館職員等の方も学校との連携の重要性を感じているので、本研修を機会にボランティアの情報を公民館に求めたり、逆に先生方が公民館の情報を学校に広報したりするなど、親密な関係が築かれることを期待しています。



グループワークでは、熱心な話し合いが行われていました。

## メールを利用した情報の送受信に関する意識調査

那須教育事務所では、メールに掲載できなかった情報の発信や、各学校の実践情報を収受する方法として、メールを利用した情報の送受信を検討しています。そこで、メールを御覧の方々の意識調査を行いますので、御面倒ですが次の項目にメールで御回答ください。

**Q あなたは、メールによる情報の送受信について、どのようにお考えですか。**

**1 賛成であり、生涯学習係と有資格教員の全員参加で行うべきである。**

- 2 賛成ではあるが、趣旨に賛同する者だけで行うべきである。
- 3 あまり賛成できない。
- 4 どちらとも言えない。



該当する番号と、御意見のある方は意見を添えて、右のQRコードのアドレス(t-ooyam01@pref.tochigi.lg.jp)へ、3月10日までにお送りください。